

プロジェクトを  
選んで支援!



割り勘で  
夢を  
かなえよう!

事業指定助成プログラム

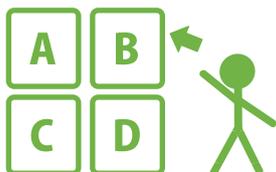
# 第10期

寄付募集期間

2017年7月17日(月) ~ 9月19日(火)

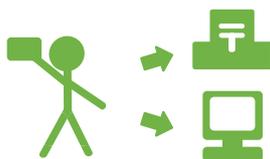
現金・郵便振替での受付は9/8(金)まで  
9/9(土)~19(火)はクレジット決済のみ

①



このカタログの中から応援したい取り組みを選んでください。

②



同封の郵便振替用紙でゆうちょ銀行にて寄付をお願いします。インターネットからも可能です。

③



賛同者から集まった寄付により助成を行い取り組みを実行します。実施後は成果を報告します。



公益財団法人

みんなでつくる財団おかやま

OKAYAMA Share Foundation

# 学びの未来

を考えるフォーラム開催  
PROJECT in OKAYAMA

子どもの貧困に関わる身近な問題を解決する為に

目標 **350,000円**  
岡山ユースミーティング



学びたいという強い意欲があるのに経済的に日々の生活に追われ、安心して学ぶことができない学生がいることをご存知ですか？奨学金制度の情報集約と地域の寄付で誰もが安心して学べる環境づくりを地域と共に考えるキックオフフォーラムを開催します！

奨学金利用は増加。しかし非正規雇用増加により誰もが卒業後に返せる時代ではなくなった。

現在、学生の約3人に1人が日本学生支援機構の奨学金を利用しています。各地自体や団体などの奨学金を利用する人も合わせると約2人に1人が奨学金を利用していると言われています。

奨学金利用増加の理由の一つとして、長引く景気低迷による親の所得の減少により、学生の収入自体にも影響が及んでいることがあげられます。また、非正規雇用が増加し雇用が不安定となっている昨今、誰もが卒業してから返せる時代ではなくなりました。中には、自己破産に追い込まれているケースもあり、このような状況を目の当たりにした高校生が大学進学を諦めているという声も聞かれています。

子どもの貧困は、所得総額2.9兆円の減少、税・社会保障1.1兆円の社会的損失につながる。

日本財団の推計によると子どもの貧困を放置することにより、所得総額2.9兆円の減少、税・社会保障の純負担額でも1.1兆円の社会的損失につながる事が示されています。

こうした中で子どもの貧困の対策を行うことは大人になってからの負の連鎖を断ち切ると共に、労働力の確保や就業形態への影響などの経済的な影響そして健康状態の改善による一人一人の生活の質の向上など、大きな効果をもたらすとされています。

生活することに精一杯の学生が安心して学ぶことができる環境をつくりたい。

私たちの周りには奨学金が借りられず、日々アルバイトをしながら大学生活を送っている学生たちがいます。生活することに精一杯で本来の目的である学業に勤しむことができない環境にある友人がいます。

また、私たちは、子どもの居場所づくりサークルを通じて貧困と言われる子どもたちに関わっている中で、将来この子達が大学で学びたいと思った時に安心して思いっきり学んでもらいたいと強く思うようになりました。この夢の実現には、私たちだけではなく地域や社会と共に「学びの環境」について考えて、行動していくことが大切だと思っています。

貧困問題に苦しむ日本の子どもたちの環境改善に取り組む学生団体「岡山ユースミーティング」

私たち岡山ユースミーティングは、貧困問題に苦しむ日本の子どもたちの環境をより良いものにするために活動している学生団体です。

子どもの貧困に対する取り組みについて岡山県などへ提案を行ったり、民間支援団体や土業の方々とのネットワークの構築のために「子どもの貧困対策ネットワーク会議」を立ち上げるきっかけづくりを行ったりしています。また、2017年4月からは「子どもの貧困対策ネットワーク会議」において、市民や子どもから意見を集め、社会に伝える活動を行っています。



2015年12月13日に開催した「STOP! 子どもの貧困!! 岡山ユースミーティング」の様子



フォーラム開催に向けたミーティングの様子

## 今、私たちにできることは、学生たちの声を社会に届け、必要な情報を子ども達に伝えること。

私たちに今できることは、奨学金を利用している学生たちや奨学金を利用して進学を考えている学生たちの実際の声を社会に届けることと、既にある国や地方公共団体、民間企業、財団が行っている奨学金制度の情報集約です。

私たちの周りにも、奨学金の情報が十分に収集することができず、アルバイトに勤んでいる学生がいます。今ある制度について情報収集を行い子どもたちに分かりやすく届けるだけでも、学びの機会の喪失を防ぐことができると考えています。

## 奨学金制度の情報集約と地域の寄付で誰もが安心して学べる環境づくりを地域と共に考えるキックオフフォーラムを開催したい！

このプロジェクトで、私たちは「既存の奨学金制度の情報集約」と「寄付による奨学金の啓発活動の紹介」を行い、誰もが安心して学べる環境づくりを紹介するほか、社会全体で支えられるネットワークの構築をするためのキックオフイベントとしてフォーラムを2017年11月に開催します。プロジェクトの実施スケジュールは下記の通りです。

7月	8月	9月	10月	11月
	クラウドファンディング			
	勉強会の実施(学生・行政等)			
	奨学金情報集約(みんつくと共同調査)			
				フォーラム

フォーラム開催後は既存の奨学金制度の情報を一元化したデータを作成し、岡山全高校に配布するとともに、コミュニティ財団が行なっている寄付による奨学金の啓発活動を行います。また、既存の行政で行なっている奨学金制度と連携できる部分について調査・研究をおこない、提案していきます。

## 子どもたちの未来の学びの環境をつくる第一歩となる私たちの活動を応援してください。

このプロジェクトを、学びたいという強い意欲があるのに経済的に日々の生活に追われ、安心して学ぶことができない学生たちが思いっきり学ぶことができる「未来の学びの環境」をつくる第一歩にしたいと考えています。私たちの活動を応援してください。よろしくお祈りします。

## ご寄付のプランと特典

寄付プランごとの特典は下記の通りです。

- 1) フォーラム応援隊プラン (1口 1,000 円)  
お礼状送付(データ)、報告書送付(データ)
- 2) フォーラム寄り添い隊プラン(1口 3,000 円)  
お礼状送付(データ)、報告書送付(データ)、フォーラムご招待
- 3) フォーラム支援隊プラン (1口 5,000 円)  
お礼状送付(冊子)、報告書送付(冊子)、フォーラムご招待
- 4) フォーラム全力支援隊プラン(1口 10,000 円)  
お礼状送付(冊子)、報告書送付(冊子)、フォーラムと特別報告会ご招待

## 寄付金の使途について

今回いただいた寄付金は、下記内容に使用させていただきます。

- ・フォーラム会場費
- ・講師派遣料(交通費込み)
- ・ヒアリング、情報収集調査、会議費

## 想定されるリスクとチャレンジ

目標金額に到達しなかった場合はフォーラムの規模を縮小して実施します。目標額を超えた場合はフォーラムの規模を大きくするほか、講演者の先生の増員や調査の精度を上げるために調査回数、エリアの拡大を行います。近隣の県から同様の活動をしている学生を呼びます。

## プロジェクト実施団体

名称：岡山ユースミーティング  
代表：岡山ユースミーティング実行代表 福崎 由貴子  
設立：2015年4月1日

実施団体の詳細な情報はおかやまシェア・ウェブをご覧ください。  
「shareweb 岡山ユースミーティング」でインターネット検索！



## ● 「割り勘」とは？

事業指定助成プログラム、通称「割り勘」とは、寄付を原資とした助成事業です。NPO・市民団体等が取り組む事業内容を社会に発信し、事業への賛同者を募ることで、「寄付により資金集めを支援する地域版クラウドファンディング」です。



## ● ご寄付の方法

### クレジット決済

モーションギャラリーのウェブサイト内からクレジット決済にて寄付をすることができます。

### 郵便振替

本カタログに挟み込んでいるものをご使用いただくか、事務局及び申請団体へ連絡いただき振替用紙を受け取ってください。

### 現金

説明会の会場やみんつく財団事務所で受付しております。事務局までお問い合わせください。

## ● ご寄付をいただいた後の流れ

- 1) ご寄付をいただきましたら、入金確認後、電子メールにてお礼と受付確認の連絡をさせていただきます。
- 2) 募集期間終了後、助成金額が確定（1カ月程度見込み）したのち、領収書及び助成結果通知を送らせていただきます。※領収書は、未発行の場合のみ発送させていただきます。※モーションギャラリー経由（クレジット）の場合は領収書は発行されません。
- 3) 助成時に、各団体へ寄付者名簿をお渡しし、事業実施後、事業報告が各団体より行われます。みんなでつくる財団おかやまのウェブサイトでも事業結果をご報告いたします。

### Q. 目標金額に達しなかった場合はどうなりますか？

集まった金額で助成（資金提供）を行います（当法人の運営経費5%+システム利用料を差し引いた額）。提案事業の目的に沿ったものを、事業規模の縮小もしくは他の資金を充当することにより実施できるものを選定しております。詳しくはウェブサイトの募集要項をご覧ください。

### Q. 逆に、期間内に目標金額を超えたらどうなりますか？

目標額を超えて集まった金額も含めて助成し、提案事業の発展に活用させていただきます。

### Q. 目標金額はどのようにして決まっていますか？

事業提案者の申請額に、当法人の運営手数料（助成額の5%+システム利用時はシステム利用料）を加えたものになっています。



## みんなの何とかしたいをカタチにする仕組み。



みんなでつくる財団おかやま、通称「みんつく」は、530名以上の方からの寄付4,133千円をもとに設立した「みんなの何とかしたいをカタチにする」市民コミュニティ財団（公益財団法人）です。「つなぐ、つたえる、シェアをする」をキーワードに、広く多くの人に知ってもらいながら資金を集める地域版クラウドファンディング「割り勘」、個人でも少額から基金を設置できる「冠基金」などの仕組みを提供しています。ヒト・モノ・カネ・情報の資源循環を通じて、社会課題の解決を進め「安心で持続可能な地域社会の実現」を目指しています。

公益財団法人

みんなでつくる財団おかやま

☎ 086-239-0329

✉ info@mintuku.jp

🌐 www.mintuku.jp

🔍 みんつく財団 検索

岡山市北区奉還町三丁目15-8奉還町第一ビル第11号  
寄付の相談や、講演依頼も気軽にご連絡ください